

Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION※本事業は、プライドハウス東京アスリート発信チーム
(企画・運営：一般社団法人 S.C.P. Japan) が公益財団法人
日本財団より助成を受けて実施しています。

アライアスリートとは？

What's "Ally Athlete"?

アライ(ally)とは、同盟、味方などを表す言葉です。

LGBTQ+当事者の味方として、

ともに行動する人々を総称してアライといいます。

LGBTQ+当事者も、アライアスリートになることができます。

アライアスリートは、LGBTQ+の課題についてともに考え、

スポーツ界から社会を動かすアクションをしていくアスリートです。

プライドハウス東京は、全3回のトレーニングの機会を設け、

多様な人が自分らしくスポーツできる環境づくりを目指す

アスリートの輪を広げていきます。

アライ
アスリートの
輪を広げよう。Expand the
"Ally Athlete" circleアライアスリート
としての活動Activities of
"Ally Athletes"誰もがありのままプレーできるスポーツ界、
そして自分らしく生きられる社会の実現を目指して、スポーツの力を
活用して、プライドハウス東京と一緒にアクションをしてくれる
「アライアスリート」を募集しています！

1 全3回の トレーニングへの参加

全3回のトレーニングを通じて、LGBTQ+とスポーツの課題について知り、
ともに考える機会や、社会やメディアに対する効果的な発信について学びます。

「LGBTQ+に関する基礎知識」

実施日 2023年8月8日(火) 19:30-21:00

「LGBTQ+をオープンにするアスリートの経験から学ぶ」

実施日 2023年8月28日(月) 19:30-21:00

「スポーツ現場をインクルーシブにするためのアクション
～スポーツ界でアライになるために～」

実施日 2023年9月を予定

2 プライドハウス東京と連携した LGBTQ+に関する情報発信

トレーニングを修了された皆さんと、スポーツを通じてLGBTQ+について
知ってもらい考えてもらう機会を作りたいと思っています。

3 プライドマッチなどの アウトリーチ活動への 訪問・トークショー等への登壇

初の試みとなった2022年度は、
22人の現役/元トップアスリートがトレーニングを修了し、
さまざまなアクションを一緒にいただきました！

活動実績



アウトリーチ活動/イベントでの登壇

2022年10月16日
国際オリンピック委員会(IOC)主催
「Thank you Tokyo! Festival and Ceremony」イベント2022年12月18日
プライドハウス東京ティーンズデー特別企画
「スポーツで交流しよう」イベント2023年3月4日
東京マラソン2023
プライドハウス東京 チャリティランナー合同トレーニング2023年3月21日
プライドハウス東京「LGBTQ+ユース EXPO」2023年3月23日
プライドハウス東京
スポーツにおける取り組みに関する記者会見2023年3月26日
プライドセンター大阪 × プライドハウス東京 presents
「プライド&スポーツ」イベント

LGBTQ+研修への登壇

2022年12月4日
Jキャン(後援:日本障がい者バスケボール連盟)
「より多様な人が自分らしく楽しいバスケを楽しむには?」を考えるオンライン企画2023年3月9日
日本ラグビーフットボール協会(JRFU)職員向け
LGBTQ+研修会アライアスリート
メッセージ動画への出演
<https://youtu.be/JxWRPuCA1fc>アライアスリートウェブサイトへの
メッセージの掲載
<https://pridehouse.jp/allyathletes/>

お申し込みはこちらから

URL <https://forms.gle/nbEPm9vwhZYYBNA09>

お申し込み期間 2023年8月7日(月)12時まで

※以降については個別で相談

お問い合わせ

プライドハウス東京アスリート発信チーム

(一般社団法人 S.C.P. Japan)

EMAIL phtsport@scpjapan.comアライアスリートが
知っておくべき
LGBTQ+の基礎知識Basic Knowledge of
LGBTQ+ for
"Ally Athletes"

基礎用語

LGBTQ+ (エル・ジー・ビー・ディー・キュー・プラス)

性的少数者を総称するときに使用されます。
レズビアン(Lesbian)、ゲイ(Gay)、バイセクシュアル(Bisexual)、
トランスジェンダー(Transgender)、クィア(Queer)
またはクエスチョニング(Questioning)の頭文字を取り、
LGBTQだけに収まらない性の多様性をプラス(+で表現しています。

レズビアン (Lesbian)

性自認が女性または女性であることにつながりを感じる人で、
女性に魅力を感じる人

ゲイ (Gay)

性自認が男性または男性であることにつながりを感じる人で、
男性に魅力を感じる人

バイセクシュアル (Bisexual)

男性と女性の両方に魅力を感じる人

トランスジェンダー (Transgender)

出生時に割り当てられた性別と、自認している性別に違和がある人

クエスチョニング (Questioning)

性的指向や性自認を決められない、分らない、あえて決めない人

クィア (Queer)

性的指向や性自認が多数派ではない人

SOGIE (ソジー)※1

性的指向※2 (Sexual Orientation)、性自認※3 (Gender Identity)、
性別表現※4 (Gender Expression)の頭文字を取った略称。※1 ここに身体構造における性的特徴 (Sex Characteristics)を含めて SOGIESC (ソジースク)
と言われることもあります。性を構成する4つの要素です。※2 ある特定の個人に対する持続した魅力、つまり恋愛感情や性的関心などの性別に向かうこと。
恋愛感情を指さないような性的指向(アセクシュアル: Asexual)もあります。※3 自分自身の性別をどのように認識しているのかということ。
身体的構造と必ずしも一致しているわけではありません。

※4 言葉遣いや服装、振る舞いなど、社会の中で表現している自身の性別。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機として、
LGBTQ+に関する理解を広げることを目指し立ち上がったプロジェクト。
NPOや個人、企業や大使館がコンソーシアムとなり、
個別のテーマに基づき8つのチームに分かれて活動しています。
「アスリート発信チーム」では、LGBTQ+とスポーツの接点から
誰も排除しないLGBTQ+インクルーシブなスポーツ環境づくりと、
スポーツを通じたLGBTQ+に関する情報発信を行っています。<https://pridehouse.jp/>